

平成 27 年度第 1 回御殿場市地域公共交通協議会議事録

平成 27 年 7 月 31 日開催 13 時 30 分～15 時 30 分

林業会館 第 1 研修室

事務局；平成 27 年度第 1 回御殿場市地域公共交通協議会を始めさせていただきたいと思えます。会に先立ちまして、協議会規約の第 7 条第 2 項に乗っとりまして委員 16 名に対して本日は出席 10 名ということで、この会議が成立していることをご確認させていただきます。それでは、はじめに会長・企画部長田代よりご挨拶申し上げます。

会長（企画部長）あいさつ；皆様、こんにちは。4 月から企画部長になりました田代でございます。よろしくお願ひします。また協議会の会長ということで色々と皆様方にお世話になりますので改めてよろしくお願ひします。今日は皆様、お忙しい中、また暑い中、お集まりいただきましてありがとうございます。地域公共交通ということで、何かとご審議いただいておりますが、よろしくお願ひします。挨拶を含めて言わせていただきますと、御殿場市に係るバスの利用人数は、増えているそうです。これは、富士山の世界遺産登録等含め観光需要が大きくなっているということだそうです。観光需要が増えているということですが、一方で日常生活交通としてのバスを普段の足として使っていただいている方の利用というのは、相変わらず増えていない状況だそうです。平成 25 年に実施した市民のアンケート調査の中では、公共交通に関する満足度は、9.4%ということで、非常に低い結果が出ています。それは利用したいという要望があるにも関わらず、利用できない・利用できる状態に無いということの表れではないかと私は思います。そういったことの中で、この協議会では、より良い公共交通のあり方を検討していただくという協議会でございます。その中で 27 年度につきましては、公共交通政策のマスタープランにあたります「地域公共交通網形成計画」、こちらの策定を予定しております。より良い計画が策定できますように、皆様方にご協力をお願いします。

事務局；それでは、今回の協議会の委員の皆様については、平成 26・27 年度（継続で就任）ということで委員のお願いをしておりますが、本年の 4 月に役職等で改正がありまして、委員の皆様は前任者の後任ということで出席をして頂いております。後任の委員の皆様を、まず紹介させていただきます。

（後任委員紹介する。後任委員自己紹介。）

（事務局 昭和株式会社出席者紹介。昭和株式会社自己紹介。）

事務局；

それではよろしくお願ひします。議事の進行につきましては規約に乗っとりまして、会長が議長ということでお願ひしたいと思ひます。

会長；それではみなさんよろしくお願ひいたします。項目も沢山ありますので、みなさんご協力いただひてスムーズな進行に努めたいと思ひます。それでは（1）平成 26 年度事業報告・収支決算報告について事務局より説明をお願ひします。

（1）平成 26 年度事業報告・収支決算報告について

事務局（菊地副主幹）；それでは（1）平成 26 年度事業報告・収支決算報告についてご説明させていただきます。お手持ち次第資料 4 ページ・5 ページをご覧ください。

（説明する。）

会長；本件につきまして、その他ご質疑・ご意見等ございましたらよろしくお願ひします。

（特になし）

会長；よろしいでしょうか。それでは平成 26 年度事業報告・収支決算報告についてご承認いただひてよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声）

会長；それでは平成 26 年度事業報告・収支決算報告については承認といたします。次に（2）平成 27 年度事業計画（案）・収支予算（案）について事務局から説明をお願ひします。

（2）平成 27 年度事業計画（案）・収支予算（案）について

事務局；それでは（2）平成 27 年度事業計画（案）・収支予算（案）について説明いたします。まず 7 ページ目の平成 27 年度事業計画（案）についてご説明いたします。

（説明する。）

事務局；続いて平成 27 収支予算（案）について説明いたします。8 ページをご覧ください。（説明する。）

会長；本件につきましてその他ご質疑・ご意見等ございましたらよろしく申し上げます。

(特になし)

会長；よろしいでしょうか。それでは平成 27 年度事業計画（案）・収支予算（案）についてご承認いただいてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

会長；それでは平成 27 年度事業計画（案）・収支予算（案）については承認といたします。資料中にあります(案)の表記を消して頂けるようお願いします。

(3)「バスの日」公共交通に関する啓発記事掲載について

会長；それでは (3)「バスの日」公共交通に関する啓発記事掲載について事務局より説明をお願いします。

事務局；では (3)「バスの日」公共交通に関する啓発記事掲載についてご説明させていただきます。資料の 9 ページをご覧ください。

(説明する。)

会長；本件につきましてその他ご質疑・ご意見等ございましたらよろしく申し上げます。

会長；富士急行さん、こちらに URL を載せることは問題無いということでしょうか。

杉山委員；はい。

加藤委員；毎年掲載されているのですか？

事務局；協議会で取り扱うのは今回が初めてですが、平成 25 年度・26 年度は、記事のスペースは小さいですが、市の（広報の）お知らせ記事・イベント欄、こちらの方に 25 年・26 年は掲載しております。今回は紙面の方で大きなスペースを確保できましたので、掲載させていただくことになりました。

会長；1/2 ページですけど、文字数については？

事務局；文字数はこれ（資料 7 ページの内容）くらいでいきたいと思います。

会長；内容について何かご希望があればまだ原稿紙面の（掲載の）1 か月前ですので、多少変えることも出来ますので言っていただければと思います。

芹沢委員；せっかく掲載するのですが、その結果（成果）というのはどのような形で把握しているのですか。私が一番気になるところは、せっかく何かの形で、利用することを（啓発することを）目的とされているのなら、その結果を、何かの形で事業所さんに指示を貰うとか、何かそういうものの中で啓発をしていく結果（の把握）をやっけていかないと、みなさんの乗ってみようかなってという気持ちの中で動けないかなって思うのですけど。私も区長の立場で広報を 1,300 部くらい回すのですが、どの位の方が見ているのかというのは気にはしております、協議会でもこういった事が話題になっているということ（区民に）お話しはしているのですが、せっかくこうやって良い案を出されたのならば、結果はどうであれ、こうだったということ（成果の報告）を一步進んでやっけていかれた方が、こういう会も進まれるのかな、色々市民の方を巻き込んでもよろしいのではないかと思います。非常に難しいことかと思いますが。

会長；市の方でも、事業をやったらやりっ放しで、その後の対応は出来ているのか、PDCA サイクルを回せと指示がありますが、当然やるには効果・結果を出さなくてはいけないのですが、例えばホームページのアクセス数を（富士急行で）お調べいただくことは可能なのですか？

杉山委員；ホームページのアクセスは観光施設とバスなど（閲覧先のアクセス集計が）いっしょくたになっているので、月間で何 10 万アクセスとある中で、その変化を見るのはなかなか難しいかと思いますが。意見・ご要望を受け付ける場所があればまた違うのかと思います。なかなかホームページだと発信にしかないものですから、（広報の紙面で）意見を送る宛先を記載して貰っても良いのかもしれないですね。高齢者の方や、今後バスを利用しようと思っている方からも意見が取れるかもしれません。

会長；今言って頂いたように、計画を立てるに当たって、例えばコメントを書き込めるようにするという対応は市でもやっけていけるのか？

事務局；計画策定に関して、今協議会で今出ていることに触れたいと思います。あと、参考ですが、主婦の方から記事を見て問い合わせをいただいたことがあったので、多少成果はあるのかなと思います。

会長；色々ご意見がある中で、多少わたくしたちの中でも考えてみますので、ぜひ皆様方も意見をいただければこちらの方に伝えていただければ良い記事として伝えていきますのでよろしくをお願いします。ということで、(3)「バスの日」公共交通に関する啓発記事掲載については以上とさせていただきます。

(4) 富士急行(株)バス路線系統の新設等について

①御殿場アウトレット—河口湖線について

会長；次に、(4) 富士急行(株)バス路線系統の新設等について議題といたします。
杉山委員より説明する。

会長；最初に①御殿場アウトレット—河口湖線について質問・ご意見等ございましたらよろしくをお願いします。

会長；アウトレットへの外国人のお客さんが非常に多いという説明がありましたが、どの辺で乗られているのですか。

杉山委員；外国人のお客さんですと、アウトレットからと御殿場駅から乗車されて、河口湖まで直行で行ってしまうというのが多いです。逆に山梨方面から来るお客さんについては、河口湖駅、もしくは富士山駅、旭ヶ丘、その辺で観光されたお客さんが御殿場まで乗って来ることがあります。朝の時間帯は、箱根方面に行く外国人のお客さんが昨年の秋くらいから増えていて、プレミアムアウトレットまで行き、箱根登山バスに乗り継いで箱根に行くというのが、外国人の流れかと思えます。また、市内観光をせず御殿場を経由地点のみと捉える外国人のお客さんを取り込みたいということで、玉穂の交流センターで乗り換えていただいて、印野方面へ向かう、樹空の森もしくは御胎内温泉方面にも今後足を延ばせるような、観光客の流れを作っていかななくては、生活交通だけではなかなか成り立たない部分もありますのでまず、その第一弾として今回、河口湖線のプレミアムアウトレットを通る線（御殿場アウトレット—河口湖線）をやっていきたいと思います。

会長；それでは特に質疑が無いということで、①御殿場アウトレット—河口湖線についてご承認いただけるということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

②市民交流センターを拠点とした系統新設について

会長；それでは②の市民交流センターを拠点とした系統新設についてご質問・ご意見等ありましたらよろしくお願ひします。

会長；今まで結節点は JR の駅を通る路線が多かったと思いますが、今回交流センターを中心としたこういった路線の形態というのは以前からあったのですか。

杉山委員；御殿場については御殿場駅起点で放射状に伸びているもののみで、循環線については一部東山、それと神場地区が循環線等になっていましたが、核となる交通ハブが今まで無かったということで、特に玉穂地域については交流センターが出来て、そこを拠点にするというのを目標としていまして。まずお客様が待合が出来る場所、道路を渡らなくても徒歩でバスを確認して乗れるということで、高齢者の方は横断歩道までが遠いということが結構ありますので、こういった拠点があるようであれば今後各支所様、合法的な施設でハブとなるような場所がありましたら今後変動させていただきたいということで、まず今回は幹線まで出すというもので考えております。御殿場駅から出すということになると、本数も過密になり、どうしてもその先が細ってしまうということで、こちらの循環ルートについては一律運賃で運行をしていこうと思います。駅間でやろうとなりますと、どうしても運賃が上がってしまいますが、幹線に出すということでこの金額（一律運賃）でやって参ろうと思いますのでご理解をお願いします。

会長；この結果によっては地域公共交通網形成計画といったことにも色々良い影響が出てくる可能性も十分にありますので、ぜひ利用する方が増えてくれることを私も期待しています。

事務局；緑色の部分（原里経由御殿場市交流センター線）の考え方について確認したいのですが、チアーズガーデン線の日中の利用者は少ないのですか？

杉山委員；ほぼゼロに近いです。週に1~2人日中の利用があるのですが、ほとんど居ません。私が4、5年前に居た時にちょうど6月にチアーズガーデン線が運行を開始するというので、経緯を調べたところ、地域から要望があったということで、善竜寺線は1日平均5~6人乗っていたところ、御殿場西高校の通学の生徒さんを補完しなくてはいけないということで、チアーズガーデン経由の西高周りを3便、原里回りを3便の1日6便運行していた中で、学生の乗る時間帯のみ乗車があって、それ以降はどうしても重複する御殿場駅から原里小学校までの区間は乗車数が若干多かったのですが、その先はほとんど（乗車が）無いので、このまま続けていても廃止にするしかないということになりつつあり、それで

はお客様のニーズを掴めないということで、今回玉穂循環、上小林循環を新設することになりました。それと上小林循環の方はちょっと距離がありますので。現状私の認識ですと上小林方面の方は 1.5~2km くらいまで仁杉のバス停まで歩いて出て幹線に乗っているという部分がありましたので、そちらのニーズがどれ位あるのかという中で、チアーズガーデンの本数を減らした中で、こちらの方を廃止にするのではなく、新しい取り組みをしてお客様を掘り起こしをするということで、玉穂支所さんにもお話をした中で、どうしても高齢者の方は通学の時間帯にニーズが合う・合わないはありますが、「まずは走らせる」ということを認識した中で意見を頂くということで、来年の 4 月のダイヤ改正までにある程度のニーズがあれば調整したいと思います。

事務局；(その説明を受けて。) 御殿場駅から原里小までは需要があり、日中は(需要が)少ないということは自分も思うんです。であれば、ここは原里小でチアーズガーデンを回るので無く、北畑の方ですよ、たぶん道路はセンターラインが入っていると思うので、街道にぶつけて上るパターンと、チアーズガーデンを過ぎて 469 (号線) をもう少し進んで永塚の方へ上ってそこからですね、交流センターの方へ・・・同じようにやっている(運行している) ここで(乗客が) 乗らないのであれば、北畑へ回すとか、永塚の方を取り込むなどに変更したらどうか。北畑は特にバスが混んでいなかったり、人家がどの程度あるかっていうことはわかりませんが、北畑の神社(浅間神社)があるんですけど、そういうところの人たちの需要があるのではないかと、本当であったら、北畑の神社から、さらにマックスバリュの方へ向かって、道幅が狭いんですけど。

杉山委員；それに回答する前にですね、警察の方に協議をしていただきまして、当初昨年の秋から公共交通会議の場でご説明している、チアーズガーデン線に関して、虎の門(虎の門整形外科病院)の方を通り、清富会館の方へ抜けるというお話をさせていただいたところ、やはり道路幅がかなり狭いということと、バス停を設ける歩道が無いということで、運行を許可できないというお話を警察からされました。先ほどお話に出た北畑も道路幅が狭い、センターラインが無いということで、どうしても許可が下りないということで、現状で何度か交渉はしましたが、路線バスというのはバリアフリーになっていますので、どうしても幅がかなりワイドになっています。今後利用客が見込めるようになって、地域からご推薦とかご依頼があるようであれば、もう一度警察の方も検討をするということになっています。今の状況ではニーズを全く掴めていないので、運行は許可出来ないということで、うちの方(富士急行)にご回答いただきました。この緑の線(原里経由御殿場市交流センター線)については、今まで交流センターに乗り入れをしていなかったものを、原里地区から交流センターに行ける便として新設します。板妻方面から来る方は御殿場駅まで一度出て掛川線に乗っていたものを、板妻から原里小学校へ出て、そこから乗り換えられるということで、その線は交流センターに乗り入れを行うということで変更をさせてい

いただいています。実施当初は、はみ出た部分は自費の体力でやらなきゃならない部分もありますので、まず最低限、モデル地域として交流センターに乗り入れをした中で、ニーズの方は掴んで参りたいと思います。これが一年、二年やって結果が出ない場合には、また系統を変えてお客さんのニーズを掴みながらになりますので、そういった部分もご了承くださいただければと思います。

事務局；許可が下りる車の車幅というのは？

杉山委員；赤い路線（玉穂循環線）については中型バスですから、長さが9m、車幅が2.5mで許可を取っております。先ほど話題に出た北畑ですと、小型バスの観光バスタイプですから幅が2.2ぐらいであればなんとかなるということでしたが、当社で持っているバスでバリアフリーのバスですと、車幅が2.49とかワイドのバスになると台数がやはり限られてしまうので、お客様が座れる座席というのが約11席しかございません。立ち乗りですと30名定員になりますけど、高齢者の方が乗りますと、どうしても立ち席が多いというのは、御殿場市内は狭い道を入れて行くとなかなか難しい部分がありますので、現状ですと中型バスの座席が23席あるバスを投入して上手く運行の方をしていきたいと思います。

勝間田委員；交流センターに行くバスは今まで2本だったのですか？

杉山委員；交流センターに乗り入れしているバスは、どの路線も正直なところ今まで一本もありませんでした。御殿場駅から出ている青年の家線の4往復のみでした。

勝間田委員；このピンク（チアーズ線の時刻表案）、青（上小林循環の時刻表案）が増えるということなのですね？

杉山委員；そうです。

勝間田委員；わかりました。

会長；循環線（玉穂循環と上小林循環）は100円均一ですか？

杉山委員；（通常は）循環線についても頭打ちということで、たとえば一番遠いところは270円なのですが、その先もずっと270円のままということです。こちらの玉穂と上小林循環は200円均一ということで運行を検討していきます。

会長；たとえば従来の線と比べて乗継が良いというメリットがあるわけですが、料金の方

も割引みたいなものは？

杉山委員；現状では御殿場地域ではありません。お隣の小山地域については、コミュニティバス同士であれば、乗継は 100 円割引を設定していると思います。

会長；今後割引を実施する予定はありますか？

杉山委員；色々な地点でハブになるようであれば、そういったことも出来なくは無いです。どうしても現状ですと、御殿場市内だけの割引は難しいかと思えます。

会長；色々な意見・ご質問が出たかと思えますけど、②の市民交流センターを拠点とした系統新設についてみなさんご承認いただけますでしょうか。

（「異議なし」の声）

会長；ありがとうございます。（4）富士急行(株)バス路線系統の新設等についてはご承認いただけたということでありがとうございます。1 時間近く経ちましたので、5 分～10 分程度休憩を取らせて頂いて、35 分から再開をしたいと思います。よろしくお願ひします。

（14:25 前半終了。10 分間の休憩。）

(5) 御殿場市地域公共交通網形成計画の策定について

①地域公共交通網形成計画の策定について

事務局；(説明する。)

会長；この計画を作ることは、御殿場市だけでなくどこも人口が減少する中で、なかなか(路線バスの)経営が成り立たないことにより本数が少なくなり、そのことによりさらに利用者が減っていくといった中で地域社会が衰退していくことを防止する意味もあり、地域社会の活力を維持向上させるといった意味でも公共交通を担うことは非常に大きいものがあると思います。そういった中で御殿場市についてもそれらを踏まえて計画を作っているということでございます。今説明がございましたが、質問等ございましたらお受けします。

(特になし)

②地域における公共交通の課題整理について

会長；それでは地域公共交通網形成計画の策定について、次は内容のほうに移らせて頂きたいと思います。②の地域における公共交通の課題整理について、事務局の方から説明をお願い致します。

事務局；今回の第1回地域公共交通協議会の場で、地域公共交通網形成計画についてご指摘等頂きたいと思います。本日も説明させて頂くのは、形成計画に係る大きく2点とし、まずは地域における公共交通の課題整理という部分がひとつ。そして、課題整理等を受けての公共交通ネットワークの方向性案という全体的な方向性についてとなっております。説明につきましては、本日同席しております本業務の委託先である昭和様よりご説明させて頂きます。

事務局(昭和株式会社)；(説明する。)

会長；有難うございました。今説明をして頂きました件に関しまして、何かご質問等がございましたらお願い致します。

加藤委員；以前、連携計画を策定する事業を行いました。その時の結果と、今回ご説明頂いたものと、何か違いはありますか？状況の違いや目新しいもの、例えば空白地域が増えた等、今回の調査で新たに分かったことがあれば教えて頂ければと思います。

事務局；平成 23 年度の調査については、主にバス交通が少ない箇所や空白地域である箇所を対象に絞って調査をしています。それに比べ今回は、バス路線も通っているすべての地区を対象に市民会議を行いました。

平成 23 年度については特に高齢者からも生活の足がないと言われていました。要望としてあるのはバス本数を増やしてほしい等です。これについては今回も各地区で出ています。全体として市民の満足度調査にも表れているように、公共交通の充実が課題として挙げられると思われま

会長；他にはご意見等ございますでしょうか。

武田委員；小学校におり、バスを利用させて頂いております。本当に感謝しております。ただ、市全体を見ていても、バス停のバスを待つ場所というのがすごく難しいなと思うんです。歩道が非常にそこだけ狭くなっているとただでさえ交通量が多いところで危なかったり、当然乗るときなんていうのは本当にあちこちにご迷惑をかけるのかなと思いますので、ぜひバス路線の計画の中にバス停についても少し考慮したものが入っていると良いのではないかなと感じております。

会長；バス停の件についてはなにか基準等といったものがあるのでしょうか。

杉山委員；新設をする場合については安全に停まれる場所であるとか、スペースがあり広いところ、出入口じゃないということというのは見させて頂いておりますが、既存のバス停につきましてはバス停が昔からあったところが道路の入り口になってしまっただとか、そういったものが増えておりますし、歩道整備等を行う際などにバス停が邪魔になるといったこともあり、バス停を移動させてほしいといった要望もあります。待合室につきましても、昔はベンチをバス停に置いてくださいとか、家の前に置いて下さいと言った要望がありましたが、最近は邪魔な扱いとなっており、逆に家の前にあるバス停を離してくださいとか、ベンチを撤去してくださいと言われております。そういったことも考えて、ご利用されない方のほうが多くなってくる中で、ベンチを置いて下さいという要望があっても、今度はごみが出る等の問題も出てきたりしますので、こういったものについては地域の皆様にご協力いただけると敷地をお借りできたりもして少し広くバス停が使えたりもするかもしれませんが、やはり既存のバス停では難しいですね。バス停を移動させることによってどうしてもカーブに差し掛かってしまったり、横断歩道上になってしまったりすることもあると思いますので、お問い合わせがあった中ですぐに対応ができればしますが、なかなか難しいかもしれません。

会長；他には宜しいでしょうか。

事務局；1点補足させていただきます。この協議会の前に、市役所の職員で構成する庁内検討委員会というものを開いておりまして、この検討についての意見交換をしています。1ページのオレンジ色で示した部分に公共交通の課題を3点挙げております。公共交通空白地域の下に書いてあります、拠点施設間のアクセスが不十分であることについてですが、これはみなさん公共施設間といったものをイメージされるかと思うのですが、庁内の検討委員会で出ましたのが、バス交通は生活だけではなく、都市計画のマスタープランにもあるように、観光・レクリエーションについても必要となる役目を果たしているのではないかというような意見です。今回の拠点施設間のアクセスというのは観光施設も含んでいると捉えて頂ければと思います。

また、交通渋滞や、渋滞に伴う環境負荷に関しても、交通手段を公共交通に変えることによって軽減できる、といったところも課題の一つとして挙げられるのかなと考えており、事務局として課題に追加したいと考えております。

会長；ということは、こちらの資料に書いてあります3点に追加するということですね。具体的な事例はたくさんあると思うのですが、これらの課題を踏まえた上で策定していきたいということで宜しいでしょうか。課題として取り上げた方が良いということで、事務局よりご提案頂きました。こちら課題となるべきものだと思いますので、そうさせて頂いて宜しいでしょうか。

(特になし)

会長；ありがとうございます。これ以外にも課題となるべき点があるかもしれませんので、そういった場合は適宜提案していければ良いと考えております。

③公共交通ネットワークの方向性（案）について

会長；それでは最後に③公共交通ネットワークの方向性（案）について、事務局より説明をお願い致します。

事務局；先程、②の地域における公共交通の課題整理についてご説明させて頂きましたが、それを受けまして、地域公共交通網形成計画の策定に当たって、今後の御殿場市の地域公共交通のネットワークをどのような形のものを目指していくのかという方向性について引き続き昭和さんよりご説明させていただきます。

事務局（昭和株式会社）；（説明する。）

会長；有難うございました。先程の課題を3つ挙げて頂いて（プラス事務局から上がった1つ）、これらの課題に対して目標として作成。そして、具体的にそれぞれの地区毎の課題に対する対応方針として、今説明をして頂きました。

事務局；6ページの図面をご覧ください。こちらの図面をもう少し細かく説明させていただきます。上の方から、高根地区を見て頂きますと、駿河小山線のところに赤い破線で伸ばした矢印2箇所がございます。センターの赤丸が地域拠点となっております。これは先程の方針の中でも新たな交通システムを導入して、この周辺は交通の空白地域でありますので、赤丸の部分の拠点として想像しておりますのは、高根支所等です。そちらまではバス路線がございますので、そういう場所をターミナルにして新たな小型の車両を導入して運行させたらよいのではないかとといった構想でございます。

次に左側の玉穂地区のほうに目を向けていくと、先程富士急行さんで説明した、バスを利用した循環型の形というものがこの青い破線矢印部分で、こちらは是非とも10月1日から既に取り組んでいこうという計画です。こちらに合わせて印野地区にも循環型がございまして、さらに原里地区へ降りていきます。今度は南御殿場駅のほうへ赤い破線矢印で伸ばしていく。こちらについては先程昭和さんの方でも道路の整備を見ながらということでしたが、ここは御殿場市の都市計画道路の御殿場高根線というものがありません。これが整備されることによって、例えば朝の子供たちが御殿場駅ではなく南御殿場駅へ直接子供たちをバスを使って送ることが出来る。今現在南御殿場の駅周辺が送迎の車でものすごく混んでいるという現状がある。富士岡駅も御殿場駅もそういった状況である。これらを公共交通に変えていくことにより、混雑も解消できるのかなという構想である。これにつきましては都市計画道路の計画もございまして経過を見ながら、その道路整備に合わせてひとつの案として考えていただければ良いのかなと思います。

富士岡地区の方へいきますと、富士岡駅を中心として、そこから工業団地へ赤色破線矢印を伸ばしております。今後も御殿場市においてさらに工業団地を増やしていこうという中で、マイカーではなく、公共交通に切り替えてもらえるような施策を、富士岡地区の全体的な土地利用構想の中で考えていきたいと思っております。

今度は箱根側へ渡りまして、富士岡駅から御殿場駅まで伸ばしている赤い破線矢印があるかと思えます。こちらバス路線が通っていないところなのですが、こういったところにつきましても新たな公共交通の新システム等導入しながら、場合によってはバスの路線も考えるわけですが、やはり利用者のニーズを把握した中で適切な交通サービスを考えていきたいと思えます。

今度御殿場駅に入ってきました、東田中方面に矢印が伸びているのですが、現在富士病院から新橋深沢線という新しい都市計画道路が更に今年度、来年度に向けて整備を進めてい

ます。東京方面、北側についても、あそこから東山の方にずっと都市計画道路が通っています。それが整備されれば、例えば東田中は今現在バス路線が走っていませんが、富士急行さんのバスで新たにそこを通過して、東山循環の方までバスを回せるようになりますので、それについても道路計画があるので、そちらの整備に合わせてやっていきたいということで、計画をまとめさせていただきます。

(続いて7ページの説明。)

会長；有難うございました。これらを踏まえてご質問等ございましたらお願い致します。

加藤委員；形成計画というのは、大体何年くらいのスパンでお考えでしょうか

事務局；道路網につきましては、御殿場駅から東田中方面へ延びる新橋深沢線が近いうちに実現すると考えております。いずれにしましてもそれは予算を見ながら、また、地域の協力を得ながらというところではあります。市としても道路整備の計画は上位にあります。また、原里地区から南御殿場駅へ延ばしていきたいと申し上げました、外環状の道路につきましては、新東名の高速道路の整備に合わせて一部整備をします。その続きといたしましては県の事業計画等の整合をとりながら現在進めておりますので、具体的にいつということは今申し上げられないのですが、御殿場市としてもこの計画は上位にあります。

加藤委員；というのも、今回のこの計画について、期間がはっきり決まっていないわけですよね？その期間を決める際に、その計画が落とし込めるのかということをご心配しております。あまり長いとなると、既存の道路で考える必要があるのかと思われました。その点ご検討頂ければと思います。

会長；当然いつ整備されるかわからない道路を計画に入れて良いのかというところでありますので、その点しっかり理解していないといけないことだと思います。他にはございませんでしょうか。

加藤委員；こちらは要望なのですが、資料の5ページ「公共交通整備における基本方針」という部分に「まちづくり」といった言葉を入れて頂けるといいのかなと思われました。7ページの各地域の分析をされて、今後どうしたいという方針もあるわけですが、それが果して事業者さんの意見も含め、どこまで現実として実現可能なのかというところを知りたいです。構成は良いと思いますが、この計画に落とし込む時に、できることとできないことを整理する必要があるのではと思われました。その点いかがでしょうか。

杉山委員；バスのことにつきましてでしたら、出来ることと出来ないところは判断できません。路線バスを小さい車輻にするといったことや、乗合運行を実施することについては、お客様のニーズもございますので、路線バスとして考えているところとしては、小さい車輻を導入して行うことが望ましいのかと思います。いきなりタクシー等を利用するとなると、乗客が乗りきれない等の問題があると思いますので、そういったものも含めて計画していくか、当初ありましておりワンボックスカーの車両もございますので、そういったものを使ってみるだとか、いろいろなパターンがあると思いますので、道路状況等を見た上で、望ましいものを考えていただきたいと思います。

それと、朝の通学時間帯にバスを走らせるということは、理想的ではありますが、今現状ですと、バスの料金を100円以上払うとなると、結局ご家族の方が駅まで送ってしまうということもあると思います。金額どうこうでなくても、まずは利用者が増える方法を、例えば、利用して頂かないとバスが減ってしまいますよ、などといったことを皆さんに認識して頂かないと、利用者は増えないと思いますので、そういった取り組みを中に盛り込んで頂ければと思います。理想的な計画だとは思いますが、方向性についてや、活性化するには市民の方に認識して頂くことが必要であるということなので、そこは一度持ち帰って頂いて、方針など考えていただければと思います。

会長；路線バスの話だけではなく、例えば福祉でされている運転ボランティアであったり、福祉タクシーであったり、そういったいろいろな事業もございますので、いろいろなものを組み合わせた中で路線バスではこういったところをお願い致します、といったことも当然必要なことだと思います。

それでは、いろいろご質問などもたくさん出して頂きましたが、「御殿場市地域公共交通網形成計画の策定について（意見等シート）」というものを用意させて頂きましたので、ご意見等ございましたら是非こちらのシートをご利用いただき、事務局の方までお送りいただければと思います。

ひとまず今回発表させて頂きました通りに計画を進めさせて頂き、あとはご意見を頂いたことを反映させた中で、また次回までに取りまとめをし、みなさまにご説明させて頂ければと思います。

以上で議題につきまして全て終了とさせていただきます。ありがとうございました。

事務局；長時間に渡りまして、慎重審議頂き有難うございました。それでは閉会の言葉を宜しくお願い致します。

副会長（芹沢委員）；長時間どうも有難うございました。今色々なお話を頂きまして、是非御殿場市民の皆様が「住んでいてよかったな」と、この地域公共交通の分野からでも感じられるような街にしていくために、また協議会のほう第2、3、4回とございますので、

ご意見を持って、市民の皆様のためにお力添え頂ければと考えております。どうも有難うございました。

事務局；次回は9月の実施を予定しております。以上閉会とさせていただきます。